



シュンデンタルタイムズ 01

2021

今月の特集

前歯治療最後の砦 —インプラント療法

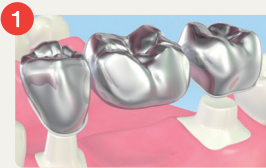
前回のラミネートベニア治療に引き続き、前歯治療最後の砦の記事です。

前歯を1本失った場合、皆さんならどのような治療を選択されますか？

① ブリッジ ② 1本義歯 ③ インプラント いずれかの選択となると思います。



前回の
記事は
こちらから



ブリッジの場合、固定式のメリットはありますが、両隣の歯を大きく削り負担をかけたダメージは計り知れません。両隣の歯の寿命のカウントダウンが始まります。



義歯の場合、削らないメリットはありますが取り外しの煩わしさだけでなく、前歯に針金が見えてしまい、入れ歯を入れているという精神的負担も大きいと思います。



インプラントの場合、手術や費用のデメリットはありますが、周囲の歯に負担をかけることなく機能的かつ見栄えがとてもいいものです。

『前歯のインプラント治療』は、周囲の歯や歯茎に調和していなくてはなりません。そのため、前歯のインプラント治療は、難易度が非常に高い治療となることが少なくありません。

事例

この患者様は階段から転んでしまい、右上の前歯が折れてしまいました。両隣の歯は天然の歯だったのでインプラント治療をご希望されました。

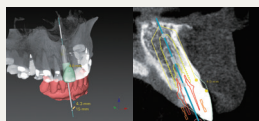


裏面に続く

01

口腔内診査、写真撮影、型採り、CT撮影などを行います。

最終的な歯の状態を、コンピューター上でシミュレーションします。



02

カウンセリングを行います。

コンピュータの画面を見ながら計画の説明、最終的な歯の形態や色などを相談します。患者さんのご希望をお聞きし、治療方針を決定していきます。

03

インプラントの埋入手術を行います。今回は1本のインプラント手術でした。手術時間は50分程度です。痛み止めは手術当日のみ使用したとのことでした。

写真は、インプラント手術1年後の写真です。とても、安定しています。



インプラントは、「費用が高い」と言うイメージがある方も多いことと思います。

しかし、選択肢の中で**最も質の高い治療**であることは確かです。

口腔内の機能を高いレベルで維持するために何が 필요한のか、当院では患者様としっかりお話しさせていただきながら決めていきたいと思っています。

また、インプラント治療を行う場合、**長期的なメンテナンス**を行うことで長きに渡って良好な状態を維持することが可能となります。せっかく復元した“第二のご自身の歯”をしっかり守っていきましょう。

SPECIAL
付録

冬キャンプしてきました!

寒い中、温かいものを食べると温かい食べ物
の大切さがわかります!
朝は寒い中、散歩を
すると家のありがたみが
わかります!



シュンデンタルクリニック

〒041-0802 北海道函館市石川町 461-38 TEL 0138-47-3737

<http://shundc.jp/>